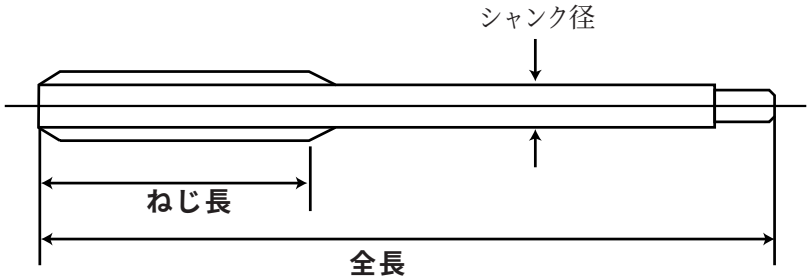
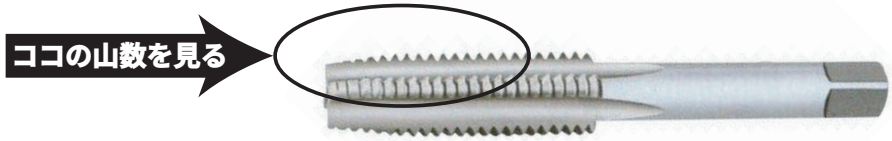
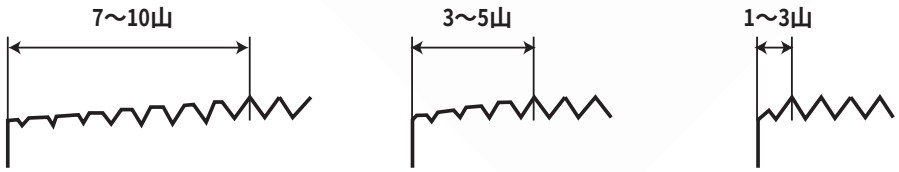


タップの先・中・仕上げの見分け方





先→1

タップの先端に向けて傾斜が付けられ、先端が細くなっているものである。ドリルで開けられた穴を簡単に加工でき、タップの歯が少ないために弱い力で切ることができる。

中→2

穴の途中までを加工するものである。

仕上→3

タップの加工の最後に用いるもので、穴の底までを加工するものである。

品番	山数	全長(mm)	刃長(mm)	シャンク径(mm)
T-HT18X2.5-S	先･中･仕上	100	48	14
T-HT20X2.5-S	先･中･仕上	105	50	15
T-HT22X2.5-S	先･中･仕上	115	55	17
T-HT24X3.0-S	先･中･仕上	120	58	19
T-HT27X3.0-S	先･中･仕上	130	62	20
T-HT30X3.5-S	先･中･仕上	135	65	23

材質/タングステン(SKS)

※ステンレス製のねじ類には使用できません
※先･中･仕上で1箱のセット商品です。

作成日	検図		品名	品番
2015.05.27	村上	TRUSCO トラスコ中山株式会社	ハンドタップ3本セット	T-HT18×2.5-S〜T-HT30×3.5-S